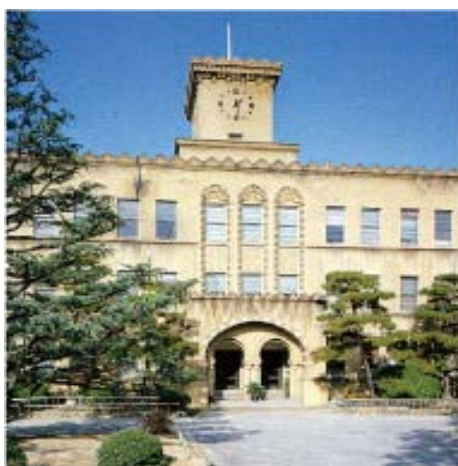


第 60 回日本電気泳動学会シンポジウム

電気泳動法の技術開発と
臨床診断学への応用
—萌芽期から最新事情まで—

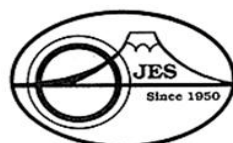


2010年5月29日（土）

大阪医科大学新講義実習棟（1階 101講堂）

主催：日本電気泳動学会

後援：（社）大阪府臨床検査技師会



The Japanese
Electrophoresis Society

第 60 回日本電気泳動学会シンポジウム

日時： 2010年5月29日（土）10:00～17:00
場所： 大阪医科大学新講義実習棟（1階 101 講堂）
及び講義実習棟（学Ⅰ講堂）
〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2-7
参加費： 学会員・学生： 無料
非学会員： 1,000円
問い合わせ： 第60回日本電気泳動学会シンポジウム事務局
中西豊文
Tel：072-683-1221 内線 2658
e-mail：nakanisi@poh.osaka-med.ac.jp

会場案内：

大学へのアクセス：<http://www.osaka-med.ac.jp/others/access/index.html>

キャンパスマップ：http://www.osaka-med.ac.jp/others/campus_map/index.html



【会場】 新講義実習棟 1階
101講堂

プログラム

10:00 開会の挨拶 オーガナイザー 中西豊文

第一部 教育講演 I 電気泳動法の技術開発（萌芽期～最新事情）

10:05～11:05 座長 吉岡正則（大阪医科大学）

「支持体膜の変遷と最新技術」

柳沼仲次（富士フィルム・ライフサイエンス事業部
事業開発室）

11:05～12:05 座長 片山善章（神戸常盤大学）

「セ・ア膜電気泳動装置の開発」

横川尚充（ベックマンコールター・バイオメディカル
技術戦略、知的財産戦略主査）

第二部 ランチョンセミナー

12:10～13:10 「バイオマーカーに基づく個別化治療」

三好康弘（株）ロシュ・ダイアグノスティックス
IVD 事業本部 製品・学術部門）

第三部 特別講演

14:00～15:00 座長 田窪 孝行（大阪医科大学）

「疾患プロテオミクスの臨床応用」

谷川允彦（大阪医科大学 一般・消化器科外科学教授）

第四部 教育講演 II 電気泳動法の臨床診断学への応用

15:10～15:55 座長 中西 豊文（大阪医科大学）

「RFHR 二次元電気泳動法によるプロテオーム解析」

和田 明（吉田生物研究所 バイオ情報研究部門長）

16:00～17:00 座長 戸田 年総（東京都健康長寿医療センター研究所）

「電気泳動の歴史を振り返り未来を考える」

櫻林郁之介（自治医科大学 名誉教授）

17:05 閉会の挨拶

日本電気泳動学会会長 戸田年総